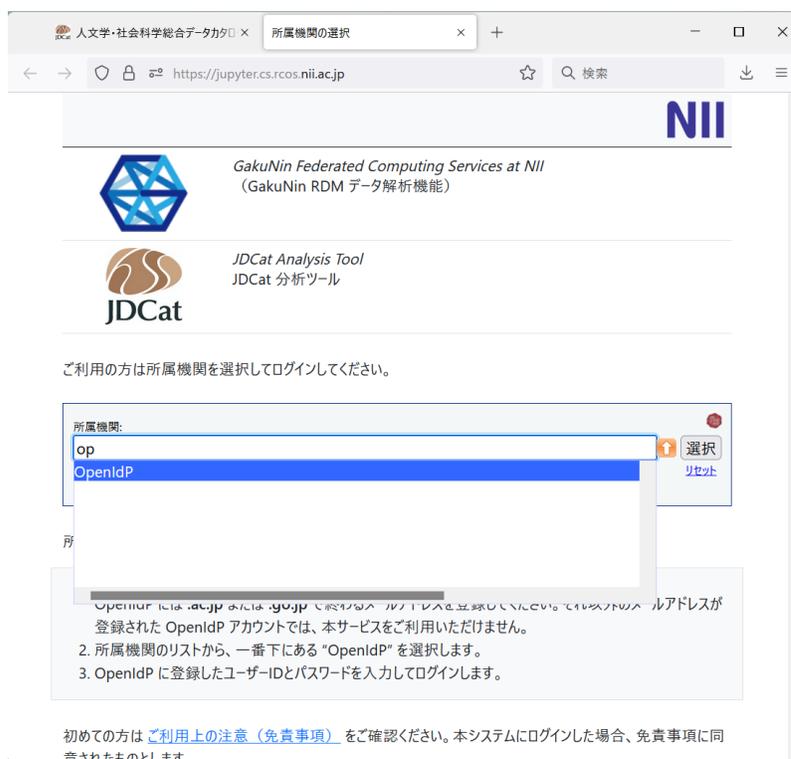


# OpenIdPアカウントの使い方

JDCat分析ツールをOpenIdPアカウントで利用する手順は次のとおりです。

1. 所属機関の選択画面が表示されたら、所属機関リストの一番下にある「OpenIdP」を選びます。OpenIdPアカウントを利用する場合、**ご自身の所属機関を選ばないでください。**



ご利用の方は所属機関を選択してログインしてください。

所属機関:  
op  
OpenIdP

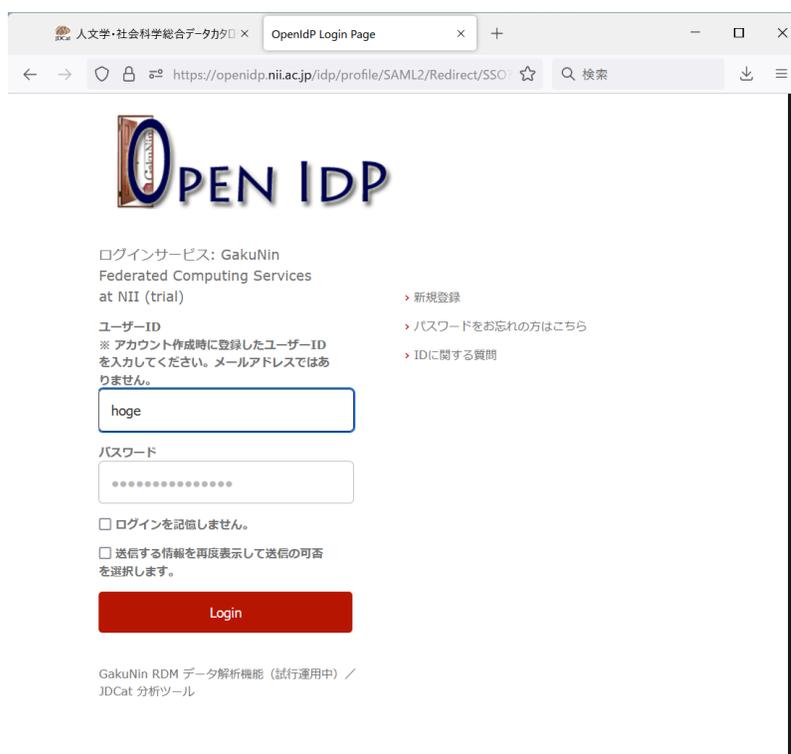
選択  
リセット

OpenIdPには.ac.jpまたは.gu.jpで発行されたメールアドレスを登録していることでメールアドレスが登録されたOpenIdPアカウントでは、本サービスをご利用いただけません。

1. 所属機関のリストから、一番下にある“OpenIdP”を選択します。
2. 所属機関のリストから、一番下にある“OpenIdP”を選択します。
3. OpenIdPに登録したユーザーIDとパスワードを入力してログインします。

初めの方は [ご利用上の注意 \(免責事項\)](#) をご確認ください。本システムにログインした場合、免責事項に同意されたものとします。

2. [選択] をクリックします。ログイン画面が表示されます。



ログインサービス: GakuNin Federated Computing Services at NII (trial)

ユーザーID  
※ アカウント作成時に登録したユーザーIDを入力してください。メールアドレスではありません。

パスワード

ログインを記憶しません。

送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。

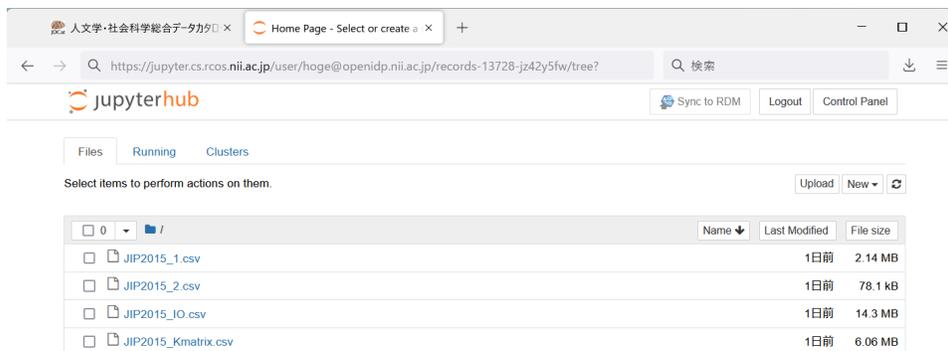
Login

GakuNin RDM データ解析機能 (試行運用中) / JDCat 分析ツール

3. ユーザーID（メールアドレスではありません）とパスワードを入力して [Login] をクリックします。送信属性の選択画面が表示されます。



4. [同意] をクリックします。JDCat分析ツール (Jupyter Notebook) にログインします。



- ログインできない場合は「401 Unauthorized」というエラーメッセージが表示されます。原因として、ac.jp または go.jp ドメイン以外のメールアドレスが登録されている可能性があります。
- 別の OpenIdP アカウントでログインし直すには、ブラウザのウィンドウをすべて閉じてから、やり直してください。
- それでもログアウトされない場合は、<https://jupyter.cs.rcos.nii.ac.jp/Shibboleth.sso/Logout?return=https://jupyter.cs.rcos.nii.ac.jp/hub/logout> にアクセスしてみてください。

5. ログインされた方には、OpenIdpアカウントに登録されているメールアドレス宛に、NIIからメンテナンス予告などの情報をメールで送信させていただきます。ご了承ください。